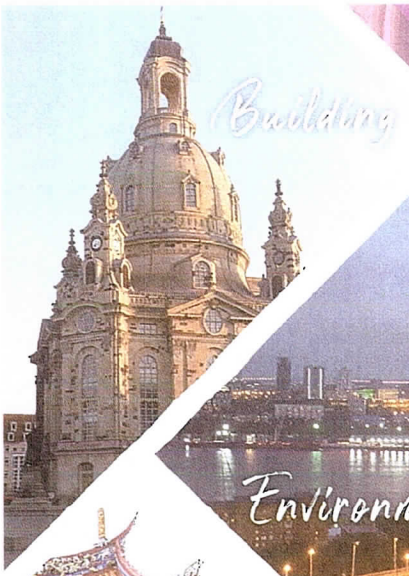
日本女子大学

文学部

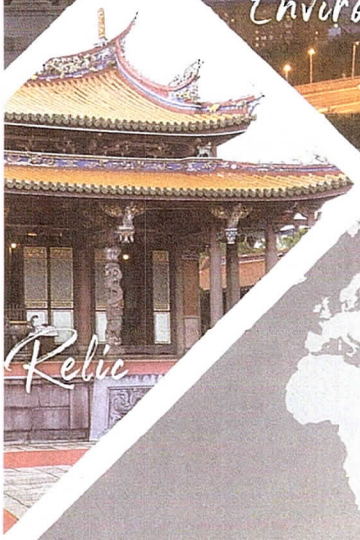
歴史文化学科

歴史にふれ、
文化を識り、
明日を拓く。

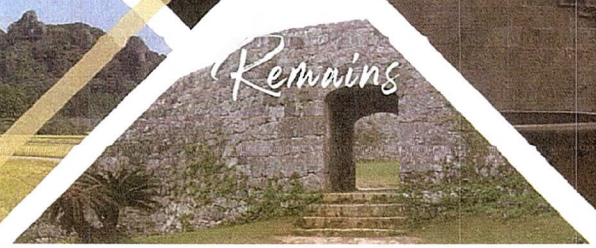












地理

地誌

宗教

民族

経済

自然

語学

日本史

日本に仏教が定着していなかったら、
今の日本文化の多くは存在していなかったのかも。
平安時代のイケメン藤原道長は、本当はどんな人生を送ったの？
鎌倉の大仏が最初は木造だったってどんな史料に書いてあるの？
戦国時代は東国からって言われているらしい。
室町時代が面白いのはむしろ応仁の乱以降なんですよ！
江戸時代は「鎖国」していなかったという説は本当？
武家の奥方、村の女性、遊女…近世の女性の声に耳を傾けてみよう。
一万円札の渋沢栄一が物語る近代日本。
誰も彼もが記録を残す時代、史料の山からあなたは何を探し出す？





東洋史

アジアの歴史と文化を、その一部である日本から見渡そう。
万里の長城は、ただの壁ではない。
それは中華と遊牧が織りなす、緊張と共存の境界線。
せめぎ合いの中で、文明の躍動が生まれた。
辺境の新興宗教から世界宗教へと発展したイスラム教。
一般人のおじさんもヨルダンの王様も預言者ムハンマドの子孫？
イランの「核問題」とは何だったのか





西洋史

ヨーロッパ再発見の旅にでよう。
フランス革命で自由と平等のために戦った女性たち。
中世の都市と現代の都市、どこがどう違うの？
カトリックとプロテスタントと東方教会……
いつ頃から、どのように分かれていったの!?違いは？
日常生活の中にも歴史がある。
キリスト教だけでは語れないヨーロッパ文化の深遠。
なぜ民族問題が多発するのか。
文書・絵画・版画・ビラなど多彩な史料に秘められた物語を読む。





歴史表象

「表象」及び「表象作用」を歴史的、哲学的、文学的に追究する。
例えば『進撃の巨人』は何を表象しているのだろう。
この既視感漂うディストピアは、神話や歴史の素材によって
精巧に組み上げられていて、たとえ架空の登場人物でも、
その苦悩はまるで我々の生き様の寓意のよう。
あらゆる表象媒体、つまり漫画も文学も芸術も歴史記述も
深く学べば必ず現存在の哲学的問いへ導かれる。
歴史と哲学は「表象」において奇跡的に出会う。
この出会いを学問的に追究し実践する。





歴史を学問的にひもとき、「いかに生きるべきか」を考える

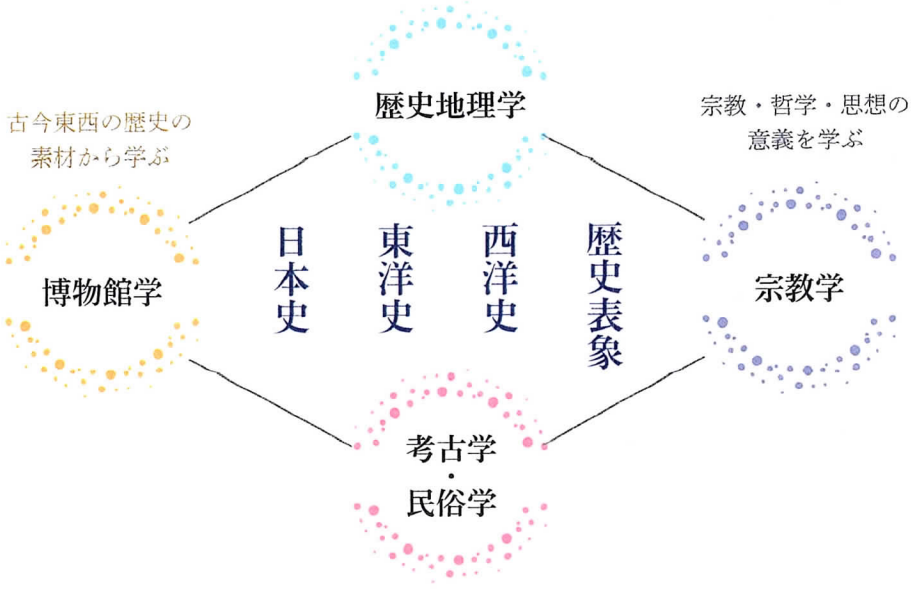
歴史学の学びを通し、歴史的な思考力を鍛えることで、人類の歩みを把握することが目的です。
さまざまな地域や時代を探究することで視野を広げて、多様な人間存在への考察を深め、
歴史的視点から現代を再認識し、未来に貢献できる人材を養成します。

学びの分野

日本史・東洋史・西洋史・歴史表象を中心に、関連領域まで広く深く学ぶ



時間と空間を結び理解する



在学生の声

どの歴史の授業も高校生で習うような基礎的な部分から、少し高度なお話、先生方の専門に踏み込んだ少しマニアックな話もたくさん出てきます。そのため高校で選択していた科目でも、そうでなくても新たな発見がありとても面白いです。
私は今後、イギリスやアメリカの歴史や文化について詳しく勉強していきたいなと考えています。アメリカは主にイギリス人が入植して発展していった国ですが、両国の文化には相違点が多くみられます。そのため、どのような点が違うのか、なぜ違うのかなどを学んでいきたいです。どの国の歴史も、どの先生のお話も面白くて大好きなので、幅広くいろいろなところのことを知りたいです！
（2025年入学Oさん）

歴史文化学科では、専攻に関係なくみんなが楽しそうに歴史の話をしています。歴史上の人物や出来事の解釈を自由にぶつけ合ったり、何百年も前の話を昨日のことのように語ったりしています。それが新たな視点や学びに繋がったり繋がらずに机上の空論で終わったり、ただの談笑一つでもすごく楽しいです。先生も、歴史の話、特にそれが自分の専門分野だと、とても楽しそうに講義をしてくれます。特に印象的だったのは、一年次の「東洋史概説」です。100人規模の大講義にも関わらず、まるで同じ趣味の友人と語り合っているような、一体感のような、「身近さ」を感じました。先生たちは、知識への疑問に真摯に向き合い、共に考える姿勢を大切にしてくれます。先生も友達も、学ぶ楽しさと探究心を大事にしてくれる貴重な環境だと思います。（2024年入学Nさん）

私はもともと神社仏閣や日本の中世史に関心があり、その学習の延長で宗教学を学び始めました。宗教学と聞くと、既存の宗教を扱う学問というイメージを持たれがちですが、実際には怪談や伝承、民間信仰、いわゆる“宗教っぽいもの”など、想像以上に幅広いテーマが研究対象になります。なかでも現在私が関心を持っているのは「実話怪談」です。一見すると学問とは結びつきにくい題材のようにも思えますが、怪談を信じるという行為には、宗教と共通する要素があると感じています。また、人々の死生観や社会との関わりが色濃く反映されており、宗教学的にも掘り下げる価値のあるテーマだと思います。今後は卒業論文で、実話怪談と宗教との関係性や、日本中世の宗教文化とのつながりについて研究を深めていきたいと考えています。（2023年入学Eさん）

私はシルクロード交易に従事したソグド人に関心があり、本学科への進学を決めました。3年次の東洋史演習Ⅰ-1では『旧唐書』安禄山伝を自ら読み、授業内で疑問点や考察を報告しています。準備の過程では、『新唐書』などの関連史料と比較することで、同じ人物でも記述が異なるところから新たな発見や気づきを得ることができます。漢文史料を読むのは簡単ではありませんが、史料・文献を比較し、自分の目で歴史を読み解く面白さを実感しています。歴史学を学ぶことで視野が広がり、現代社会を多角的に捉える視点が身につきました。自分の関心と向き合いながら学べる大学生活は本当に充実しています。ぜひ受験生のみなさんも興味のある分野が学べる大学を選んでください。応援しています！！
（2023年入学Nさん）

私は古代・中世の「土蜘蛛」と呼ばれた人々を研究しています。歴史文化学科では自身の興味のある事柄を専門的に勉強できることに加え、古文書の読み方や周辺領域の分野も学ぶことで知識の幅を広げ、より専門分野を探求できます。実際に史料に触れる機会が増える、博物館等で目にする史料を研究者の目線から見る楽しみ方ができる、また身近にある歴史に自然と意識が向かうようになるなど、歴史に対する新しい視点を増やすことができる点が歴史（日本史）を学ぶ魅力と感じています。自身の興味ある分野に共感できる先生や友人を見つけることができることも魅力の一つです。先生方も学生に親身になって接してくださり、興味ある分野、あるいは関連した分野を広く研究しているため質問がしやすく、先生の専門外であっても研究に適した史料や参考文献等を教えてくれます。とても充実した日本史の勉強ができると感じています。（2022年入学Kさん）

取得可能な資格

- 中学校教諭一種免許状（社会）
- 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
- 学校図書館司書教諭
- 司書　● 博物館学芸員
- 社会福祉主事　● 日本語教師

カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
	各時代、各地域の歴史の概要を把握 「日本史概説」「東洋史概説」「西洋史概説」と「基礎演習」を中心に、歴史学研究の基礎と方法を学びます。	興味関心に合わせて専門性を高める 専門的な講義が始まります。また、興味関心に沿って学ぶための、多彩な専門科目が設置されています。	少人数制のゼミで歴史と深く向き合う 少人数でのゼミが中心です。各自が選択した専門に合わせて、本格的な歴史研究をさらに進めていきます。	知識と技術を活用し卒業論文をまとめる 幅広い知識を活用し、広く深く研究した独自のテーマを4年間の総まとめとして、卒業論文に仕上げます。
方法科目	地域経済論	経済学入門　哲学概論　政治学概論		
	日本史概説　東洋史概説	西洋史概説		
	世界史の方法　地理学の方法	宗教学の方法　考古学の方法	民俗学の方法　文化人類学の方法	地誌学の方法　法学概論
		日本経済論		
基礎演習	基礎演習	基礎演習　古文書基礎演習		
主題科目	アメリカ史　イギリス史	デジタル・ヒストリー講義	デジタル時代の人文学	デジタルコンテンツで学ぶイギリス文化
		日本史講義　歴史文化講義 世界遺産論 宗教学各論	東洋史講義 観光地理学 中国思想史	西洋史講義　自然地理学 日本文化史 地理学各論
		アメリカ文化講義Ⅱ－1	醍醐寺寄附授業文化財学	アメリカ文化講義Ⅱ－2
演習		地理学演習　宗教学演習		
			日本史演習　東洋史演習　西洋史演習　考古学演習　デジタル・ヒストリー演習	
特別演習				日本史特別演習　東洋史特別演習 西洋史特別演習　地理学特別演習 宗教学特別演習　歴史表象特別演習
その他				卒業論文



時間割モデル



1年次前期の時間割モデル ※教職課程履修

■ 学科専門科目

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
1	フランス語入門	日本史概説			文化人類学の方法	
2	西洋史概説			基礎演習	フランス語初級	アクティブ・イングリッシュ
3		身体運動				
4	プレゼンテーション・イングリッシュ				東洋史概説	
5	教育社会学		基礎情報処理		教育心理学	

3年次後期の時間割モデル（西洋史） ※教職・学芸員課程履修

■ 学科専門科目

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
1	博物館実習		博物館経営論			
2		公民科教育法	西洋史演習		西洋史演習	
3		地理学各論	生活と社会保障			
4		社会・地理歴史科教育法	考古学演習		自然地理学	
5			生徒指導・進路指導（小中高）		地理歴史科教育法	

主な講義の内容

日本史概説	一国史として日本史をとらえるのではなく、世界、とりわけ東アジアのなかの日本という視点に基づき、史資料を通して古代から近代にいたるまでの通史に対する理解を深める。
東洋史概説	今日に見る東アジア世界が、いかなる歴史的経緯を経て成立したかを探る。中国だけでなく、北アジア・中央アジアも「中央ユーラシア」という一つの文明圏として注目し、この三つの地域の関係を軸にして解き明かしていく。
西洋史概説	近代化の中心となった北西ヨーロッパのみならず、地中海世界や東ヨーロッパにまで視点を広げることにより、コンパクトでありながら多様性に富むヨーロッパ社会の形成に対する歴史的理解を深める。
日本史演習Ⅲ	江戸時代の大名や藩士が書いた随筆・書翰を読み解き、近世日本の政治や対外情勢に関する人々の認識について議論する。
東洋史演習Ⅳ	前近代イスラム地域における政治・社会と宗教権威との関わりや聖と俗の問題を、預言者一族や聖者への崇敬、宗派意識、墓参詣といったテーマを扱う研究書や英訳史料を講読しながら追究する。
西洋史演習Ⅰ	西洋中世における王権や近代の国民国家形成などを題材として、研究文献の精読を行う。それを通じて、西洋史研究の方法と理論を学び、論文の書き方に関する作法を修得する。
歴史文化講義Ⅰ	ヨーロッパの文学、演劇、宗教といった文化的所産を具体的に分析し、歴史上の出来事と関連付けて解釈することによって、人間の精神のあり方を考察する。主に中世から近代までのドイツ語圏の文化を対象とし、他の言語圏との比較も行う。
古文書基礎演習	代表的な形式を持つ古文書を用いて、くずし字で表記された史料を解読する。史料本文を読みこなし、解釈することによって、史実を正確にとらえるための基本的な方法を修得する。
醍醐寺寄附授業文化財学	文化財の保存・管理について広く学んだ後、文化財の修復方法や和本の製作を体験する。夏期休暇中には、京都醍醐寺や奈良東大寺等で文化財研修を行う。
世界遺産論	世界遺産に登録された具体的な事例の歴史を詳しく検討することで、制度の意義と目的を理解し、世界遺産を見る目を養う。ヨーロッパ・日本・アジアの遺産を中心に取り上げる。

日本女子大学の歴史学

実学としての歴史学——身につく力

歴史を解明するためには、当時の人々が残してくれた古文書や絵画、遺物や伝承などの膨大かつ多様な史料群の中から、目的の史料を探し出し選択し、また、当時の人々の価値観を理解した上でじっくりと読み解いていく必要があります。多様な史料を収集する力、解読する力、真偽を判断する力、論を組み立てる力——これらは現代の情報社会でこそ必要な能力です。

手触りの歴史学

歴史を自分の言葉で語ること、これが歴史学の面白さです。その語り方は決して一つではありません。私たちの周辺に遺された数えきれない歴史の痕跡に触れて、時代を実感すること、それが歴史学の第一歩です。古文書や書籍、絵画や彫刻、建造物や遺跡、歌や踊り、時には風景や気候までもが、歴史を解明する素材となります。日本女子大学の歴史文化学科では、知識に偏らず、触感を重視して個性的に歴史を描き出す方法を学びます。このような方法は、歴史研究に限らず、人を知り、社会を知り、自分を表現するために、最も大切な人間のあたたかさそのものではないでしょうか。

フィールドワークを重視

当時の人々が残してくれたさまざまな史料を、より正しく解読するためには、それらの史料が作成され、保存されてきた現場に自分の身体を置いてみることが大切です。現地に赴いて周辺を歩き、史料が作成され、保存されてきた寺社や教会、博物館や史料館などを訪れ、歴史が形づくられた現場を五感で実感すること——これがフィールドワークです。時間と空間を越えて、史料が新たな真実を語り始める——現地調査でのダイナミックな発見の瞬間です。

デジタルで拓く、歴史学の最前線

歴史学は、もはや古い文献と向き合うだけの学問ではありません。文学部が掲げる「デジタル時代の人文学」コースの一環として、歴史文化学科は新たな歴史分野に挑戦しています。「デジタル・ヒストリー講義」、「デジタル・ヒストリー演習」では、インターネット上の膨大な情報から価値あるものを選び抜き、体系的に議論する作法を学びます。伝統的な研究手法と最先端のデジタル技術を両手に、未来の歴史家として、あなただけの歴史像を描き出してみませんか。

文化財系科目の充実

歴史文化学科には、博物館学芸員資格を取得するための科目が豊富です。博物館学では、自然や人間が生み出した有形・無形の文化遺産から歴史を学び、考古学や文化史、文化財学では、素材としての資料を通して歴史を見る目を養います。その先にあるのは、私たちに残された貴重な文化遺産の保護であり、人間の叡知と尊厳の証を守ることでもあります。

言語運用能力の育成

歴史文化学科は、あなたの語学恐怖症をなおします。ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語のどれか１つの入門・初級・中級が必修です。しかし、詰め込み学習ではなく、その国の文化への理解を第一に考えます。ネイティブの先生の楽しい話や美しい発音。先生方の諸外国での経験談や最新情報。２年以降はバラエティに富んだ授業。3、４年生は少人数の中級アドヴァンストと上級（選択）で、その言語・文化に親しみます。

関連分野の多彩な科目を開講

地理学は空間的視点から、宗教学は宗教という普遍的現象から、民俗学や文化人類学は文字に残らない習俗から、考古学は発掘されたものから……と、日本女子大学の歴史文化学科は、文字史料を中心とする歴史学の方法をおぎない、より広い視点から歴史を捉えることのできるように様々な関連分野の科目を開設しています。



学科の特色

1

４つのコースに分かれて興味関心を究める

史資料解読に力を入れて実地学習を重視する「日本史」、東アジア漢字文化圏と中東イスラム文化圏をはじめ、広範な地域を対象とする「東洋史」、ヨーロッパ諸語の習得に努めてヨーロッパの社会形成の歴史を総合的に学ぶ「西洋史」、哲学・思想・比較文学を基礎に「表象」を歴史的に追究する「歴史表象」の４つの分野があります。

2

演習重視のカリキュラムで独自の歴史像を構築

1年次から必修の少人数制のゼミではきめ細かな指導のもと、史資料の扱い方や古文書の解読など、歴史を理解する方法を学びます。どの時代・地域・テーマからでも自由に学びをスタートさせて、独自の歴史像を構築することができます。

3

実社会でこそ生きる考察力と行動力

官公庁、企業の芸術文化振興部門、旅行・観光サービス分野、マスメディア関連、企画・広報・広告サービスなど、卒業生が活躍する場はさまざまです。中学・高校（社会・地理歴史）の教員、司書・司書教諭、博物館学芸員への挑戦も推奨しています。

卒業生の声



中根花奈 さん

出身高校
実践女子学園高等学校
卒業年
2014（学部）、
2016（修士）
現職
私立実践女子学園中学校高等学校教員

高校生のころから歴史が好きだった私は、本学科に入学しました。１年次の基礎ゼミでは、レジュメの作り方や史資料の扱い方を丁寧に教えていただき、学問の基礎を徹底することができました。また、豊富な語学の授業のおかげで、幅広い視点で歴史を楽しめるようになりました。

本学科の一番の魅力は、ゼミ形式の授業が多い点です。毎日のように文献や論文を読んでは歴史像を考察し、「自分の考えを伝える」ことの難しさや楽しさを感じていました。ここで培った力は、教員となった今、私の武器の１つになっています。膨大な知識を覚える授業ではなく、物事を体系立てて論理的に思考するための「歴史的思考」の楽しさを、生徒たちにも味わってほしいと思っています。

本学科では、先生方や同級生との議論や対話を通じた、発見の多い授業ばかりでした。自分の志した学問に没頭できる、本当に幸せな環境で学ぶことができました。皆さんにも、ぜひその楽しさを味わってほしいと思います。



神子芙涼 さん

出身高校
東京都立国分寺高等学校
卒業年
2018（学部）、
2020（修士）
現職
板橋区教育委員会
（学芸員）

高校生の頃に訪れた博物館に魅了されて学芸員を志し、本校の歴史文化学科に入学しました。２年次の古文書基礎演習で中世の史料を読み解く面白さに惹かれるとともに、日本史講義や寺院調査で実物の古文書に触れる経験を通して中世寺院や仏教美術への学びにのめりこんでいきました。特に、３年次の日本史演習で出会った「東寺白合文書」をきっかけに中世寺院の人事や文書管理に興味を持ち、さらに研究を深めたいと思い、大学院に進学しました。現在は、板橋区教育委員会で学芸員（学芸研究）として働いています。学芸員と言っても仕事内容は博物館での展示だけではありません。講座や文化財を活用したイベント、小中学校での出前授業なども仕事の一つです。このような教育普及事業に携わりながら、中近世史の学芸員としてまだ見ぬ地域の歴史・文化を掘り下げて、調査研究などもしています。ぜひ歴史文化学科で、実物資料に向き合い、学びを突き詰める楽しさに浸かってみてください。



稲垣沙希 さん

出身高校
埼玉県立春日部女子高等学校
卒業年
2020（学部）、
2022（修士）
現職
野田市郷土博物館
（学芸員）

もともと日本史が好きで学芸員を志し、高校生の時に訪れたオープンキャンパスにて、本校の雰囲気や充実したカリキュラムに惹かれて入学しました。特に３年次の日本史演習では、中世社会の様相を古文書などの史料から読み解く面白さに魅了されました。なかでも紛失状と呼ばれる古文書に惹かれ、卒業論文のテーマに選び、大学院でも同様のテーマで研究を続けました。修了後は企業や官公庁などの情報資産の管理やコンサルティングを行う会社に就職しましたが、学芸員への思いを捨てきれず、仕事と両立しながら就職活動を行いました。現在は念願叶って、千葉県の野田市郷土博物館にて学芸員として勤務しています。学芸員になりたいという強い思いを抱くようになったのも、本学科での学びや研究の面白さがあったからです。一般企業を経て改めて感じるのは、学芸員に限らず、どの職業に就いたとしても、本学科での学びや経験は色々な形で活きていくということです。ぜひ本学の歴史文化学科でそれを実感してください。



川崎絹佳 さん

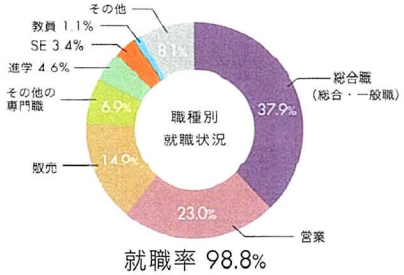
出身高校
昭和学院秀英高等学校
卒業年
2022
現職
JAL デジタル株式会社

元々歴史に興味があり、本学科に入学しました。卒業後、ITエンジニアとして、歴史とは全く異なる世界で働いていますが、理系のイメージが強いこの業界でも、私が本学科で培った多角的な視点は、日々の業務で大いに役立っています。ある歴史的事象を深く探求するとき、文化、宗教、地理、気象といった、一見無関係に見える様々な要素から問いにアプローチし、その因果関係を見つけ出します。

業務でも同じです。ネットワークの障害が発生した際、まず注目するのは機器の状態や通信経路ですが、私は、機器が置かれた環境や過去のナレッジなど、一見すると直接関係なさそうな情報にも目を向け、多角的な視点から原因を探ります。このような「見落とされがちな視点」に気づけるのは、ここでの学びがあったからこそだと感じています。

また、先生方やゼミ生でそれぞれ意見を出し合い、柔軟に、自由に物事を考えて探究できる環境で学べたことは、かけがいの無い経験でした。皆さんも是非、本学で歴史学の世界に飛び込んでみてください。

卒業後の進路（2025 年 3 月卒業生実績）



就職率 98.8%

●就職
【事務（総合職・一般職）】伊藤忠丸紅住商テクノスチール／国家公務員共済組合連合会／ゼンショーホールディングズ／DNP コミュニケーションデザイン／日本医科大学／富士フィルムサービスクリエイティブ／三菱地所プロパティマネジメント／埼玉県／東京都庁／東京・特別区／千葉市
【営業】公文教育研究会／タカラトミーマーケティング／TDK／日本郵政／能美防災／三井住友海上あいおい生命保険
【販売】ティファニーアンドカンパニー・ジャパンインク
【その他の専門職】秋田テレビ／岩手めんこいテレビ／小西美術工藝社
【SE】スクウェア・エニックス／日本ヒューレット・パッカード
【教員】佐野日本大学中等教育学校
●進学
日本女子大学大学院

教員紹介



加藤 玄 教授

専門 フランス中世史・中世英仏関係史

担当 西洋史講義・西洋史演習・西洋史特別演習

「西洋中世でもっとも有名な女性は？」と聞かれたら、「ジャンヌ・ダルク」と答える方が多いかもしれません。はたして彼女は「フランス」を救うために、「イギリス」と戦ったのでしょうか？国や地域という空間的枠組みを、中世の人々がどう認識し、その中でどう生活していたかを考えています。



久保田静香 准教授

専門 フランス文学・思想、修辞学

担当 フランス語・西洋史演習・歴史表象特別演習

近世フランスの言語文化が専門です。現在の研究の端緒には、ことばへの関心がありました。ことばには、美醜を超えたこの世ならぬ世界を立ち上げ、音楽を奏で、私たちの存在を丸ごと揺さぶる力があります。フランス語という異文化を通じて日本語の外へといっしょに飛び立ちましょう。



具知會 助教

専門 日本近世史・女性史

担当 基礎演習Ⅰ・基礎演習Ⅱ

江戸時代の尼寺で住持を務めた尼僧が、どのような活動をしていたのかを研究しています。出家した女性は寺の中で祈るだけでなく、大名家や大奥の女性たちと交流することもありました。尼僧による女性ネットワークについて一緒に考えていけたら嬉しいです。



差波亜紀子 教授

専門 日本近現代史・日本経済史・地方史

担当 日本史講義・日本史演習・古文書基礎演習

社会経済分野を中心とした日本近現代史を研究しています。商業や醸造業、製糸業など、かつて家業として営まれることが多かった事業について、市況や科学知識といった経済活動に必要な情報資源の獲得に関わる公的制度や私的ネットワークの問題などを考えています。また製糸工場で働く教婦などを事例に、教育と女性の社会的地位や意識の問題についても研究しています。



徳安浩明 教授

専門 歴史地理学・環境史・地理教育

担当 地理学の方法　地理学演習　地理学各論　社会科教育法

自然と人間の関係を考察する地理学の立場から、伝統的経済活動にともなう地域・環境の変化について考えてきました。主要な研究対象は、近世～近代の砂鉄製錬業（たたら製鉄）や木器類をつくる木地挽き業などです。現地踏査を重視し、地理教育に関する提言も重ねています。



古川元也 教授

専門 博物館学・日本中近世史・日本文化史

担当 博物館概論・博物館実習・日本史特別演習

学生の頃、風化して判読できなくなる中世の碑文があまりに多いことに気づき、ひたすら拓本を打ちに出かけていた時期があります。資料としてモノに向き合う原点はここにあります。時代が大きく変化し、科学技術がどれだけ進歩しても、実物資料の持つ力は減じません。その魅力を伝えるのが史学科であり、博物館だと思います。



山下将司 教授

専門 中国隋唐史・シルクロード史

担当 東洋史概説・東洋史講義・東洋史演習

チャイナドレスが実は満洲人の伝統服であり、餃子や饅頭がペルシア伝来であるように、中国史を考える上で北方の草原世界や西方のオアシス世界との関係を欠かすことはできません。私と一緒により広い視野から東アジアを見つめ直してみませんか。



北村暁夫 教授

専門 イタリア近現代史・欧米移民史

担当 西洋史講義・西洋史演習・西洋史特別演習

日本からブラジルへの移民は 1908 年に始まりますが、それは 1902 年にイタリア政府がブラジルのコーヒー農園への移民を禁止したために、ブラジルの州政府がイタリア人に代わる労働力として日本人に目をつけたからなのです。イタリアを中心に、近現代の欧米における人の移動や国民国家形成の過程について研究しています。



黒子康弘 教授

専門 ドイツ・オーストリア文学、西洋思想

担当 ドイツ語・西洋史演習・歴史表象特別演習

ドイツ語圏およびその文化的関連地域（東南ヨーロッパや近代日本も含む）の言説に表象された精神世界について研究しています。神話、伝説、メルヒェン、思想・哲学、詩、評論、小説などのテクストを歴史資料として読解し、時代時代の刻印を受けた人々の内面世界を明らかにすることで、生きた時代の姿が浮き彫りにされると考えています。



近藤光博 准教授

専門 宗教学・南アジア近現代史

担当 宗教学の方法・宗教学演習

宗教学とは、世界各地のいろいろな時代の宗教現象を比較することで、人間にとって宗教とは何なのか―この問いに答えようとする学問です。私自身は、南アジアの近現代史、とくにヒンドゥー教が専門ですが、授業では幅広い知識と理解をお伝えするよう心がけています。気構えず、大らかな気持ちで、宗教という問題に取り組んでみてほしいです。



杉村安幾子 教授

専門 中国近現代文学

担当 中国語・東洋史演習・歴史表象特別演習

中学時代、唐詩を通じて中国古典に憧れ、高校時代、魯迅の『吶喊』を読んで厳しく過酷な中国近代文学の作品世界に衝撃を受けました。その後、留学を含め、数えきれないほど中国を訪れましたが、中国にはどこを掘っても湧き出る泉のように尽きせぬ魅力があります。シビアな現実も含めて、もっと知りたいと思っています。



藤井雅子 教授

専門 日本中世寺院史・寺院史料論

担当 日本史講義・日本史演習・古文書基礎演習

寺院には古文書や記録など、僧侶が宗教活動を行う際に作成した史料が数多く残されています。こうした史料には時には僧侶たちの本音や愚痴が記されていることもあります。一緒に史料を読み解いて、歴史上に生きた人々の息遣いを感じ、新たな歴史の発見をしてみませんか？



水上 遼 准教授

専門 前近代西アジア史、スンナ派・シーア派関係史

担当 東洋史講義・東洋史演習・東洋史特別演習

イスラム教二大宗派のスンナ派とシーア派は、「対立」ばかりが語られがちですが、実は歴史的に同じ地域に「共生」し、思想や文化の「交流」を重ねてきました。世界に 20 億人も暮らすイスラム教徒たちを、一面だけで理解すべきではありません。彼らの多彩な歴史と文化を一緒に学んでみませんか？



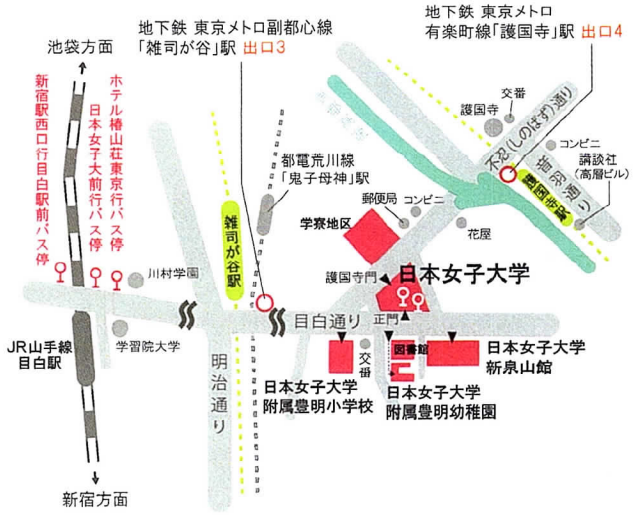
吉村雅美 准教授

専門 日本近世史・対外関係史

担当 日本史講義・日本史演習・古文書基礎演習

「おてんば」はオランダ語に由来する言葉であることを知っていますか。「鎖国」と呼ばれた江戸時代の日本でも、人々の生活・文化や意識の中に、外国に関するものを多く見つけることができます。近世の古文書やオランダ語史料などから外国との関わりについて読み解きながら、「日本」とは何か考えています。

目白キャンパス



交通アクセス

●JR山手線　「目白駅」下車／徒歩約15分
都営バス約5分　日本女子大前行(学05)
新宿駅西口行・ホテル椿山荘東京行(白61)
「目白駅前」乗車／「日本女子大前」下車

●東京メトロ副都心線　「雑司が谷」駅下車(出口3)／徒歩約8分

●東京メトロ有楽町線　「護国寺」駅下車(出口4)／徒歩約10分

●都電荒川線　「鬼子母神前」停留所下車／徒歩約10分

日本女子大学

文学部 歴史文化学科

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1
TEL 03-5981-3581(歴史文化学科中央研究室)